

# ディスクロージャー誌「日新火災の現状2018」正誤表

## P113 金融商品関係

(注) 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品は、次のとおりです。

非上場株式および非上場株式中心に資産が構成されている組合出資金等(貸借対照表計上額3,481百万円)は、市場価格がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積もることができないことから、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象とはしていません。

なお、貸付金(貸借対照表計上額234百万円)は全額約款貸付です。約款貸付は保険契約に基づいた融資制度で、解約返戻金の範囲内で返済期限を定めずに実行しており、将来キャッシュ・フローを見積もることができないことから、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価の開示対象とはしていません。

(注) 3. 金銭債権および満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

種 類	2017年度末			
	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預貯金(*)	59,540	—	—	—
有価証券				
満期保有目的の債券				
国債	—	—	—	1,200
その他有価証券のうち 満期があるもの				
国債	1,000	27,500	35,400	44,400
地方債	400	2,800	—	1,500
社債	15,760	42,322	5,484	9,200
外国証券	3,066	6,443	7,421	1,846
その他	23	—	—	—
資産計	79,790	79,066	48,305	56,300

(\*) 過年度において、預貯金には、譲渡性預金を含めておりましたが、2017年度は該当ありません。

【正】58,146  
【誤】56,300